

令和6年度 観光人材広域ネットワーク業務

●実施概要

高付加価値富裕者層に対応できるガイド、ホテル等でのホスピタリ人材の不足を解消するため、ガイドやホスピタリティ人材を地域外から確保する人材ネットワークの設立に向けて、観光人材をシェアする仕組みの構築及び検証を実施。

■背景

地域部において慢性的な人材不足が発生、人手不足により観光客を受け入れることができない状況が続いている。

コロナ禍での人材流出以降、就労者不足が続く中、観光需要は伸び続け地域の宿泊施設では、人手不足から部屋の稼働数の制限や、朝食の廃止などを実施。宿のポテンシャルに対して、売上の機会損失が発生している。

一方で観光地には地域特性に応じた繁忙期と閑散期が存在。

閑散期は現在の人員で問題なく経営できるものの、繁忙期に人材が確保できない宿泊施設が多い。

また、閑散期において人件費を抑えるために減給や、休みの増加などの対応をとっている宿泊施設も存在している。

■検証する人材シェアの仕組み

DMOが窓口となり、繁閑の異なる地域で人材をシェアするためのマッチングおよび各種受け入れ準備を行うことによって、観光地間における人的リソースの最適化を目指す。

